

# 特集 3 高速道路の価値を最大化

NEXCO西日本グループでは、高速道路ネットワークおよびこれまで培ってきた技術的な資産や経験などを活かして、より快適で楽しい“また行きたくなる高速道路”と“周辺地域との共生”の実現を目指し、社会と共有できる新しい価値の創造に取り組んでいます。



広域観光連携キャンペーン「やまごころ周遊記」PRイベント

若手プロジェクトチームによるミーティング

SA・PAを活用して、新しい事業を展開

## 新しい事業の創出を目指して、アイデアを結集

### 事業創造活動の推進

#### 国民の皆さまの資産である高速道路の価値を最大化するため、事業創造を推進しています

NEXCO西日本グループは、「中期経営計画2015」で掲げた「自立と成長」の実現に向けて、社長を委員長とする「事業創造委員会」を2010年10月に発足させました。同委員会は、社内はもちろん、社外の事業アイデアやビジネスパートナーを募り、地域と一緒に高速道路の価値を最大限に引き出すことを目的としています。

事業創造委員会では、「技術資源・ノウハウの活用」「周辺地域との共生・連携」の2つを大きな柱として、保有資産の活用方法を検討しています。2011年度は、社内外のステークホルダーから約4,000件もの事業アイデアをお寄せいただきました。また、事業アイデアの具体化にあたり西日本の23自治体と包括協力協定を締結して、継続的な協力関係の基盤を築きました。

今後も、高速道路とその周辺地域を結んだエリアで、高速道路の資産を活用した関連事業を生み出すことで周辺地域との共生を図り、また目的を共有する他社と組んでこれまでにない新たな事業を実現していくことによって、高速道路の価値を高めていきます。また、こうした取り組みを通じて、安全・安心を基本としつつ、高速道路を単なる「高速で移動できる道路」ではなく、「楽しい」「行ってみたい」「走ってみたい」高速道路に変革し、社会課題の解決に貢献することで、社会と共有できる新たな価値を創出していきます。



グループ全員参加で、自社の成長と地域の将来発展に向けた事業創造を討議

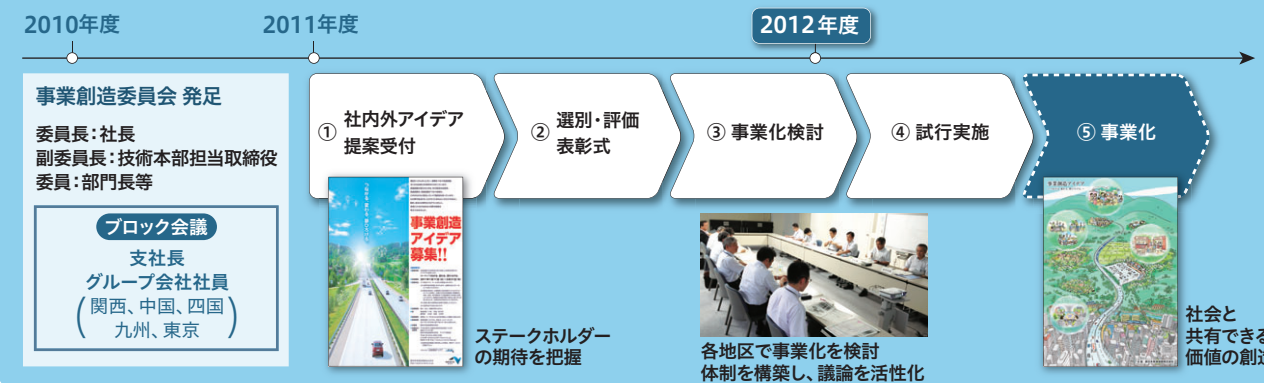
### 高速道路活用のイメージ



### 取り組み方

- グループ内で培ってきた技術、ノウハウ、サービスを、NEXCO西日本グループが管理する道路だけでなく、国内外の道路や関連施設でも提供していく、新たなビジネスモデルを構築していきます。
- 周辺地域や他の事業者と協働し、地域との共生を図り、これまでの概念を超えた高速道路サービスを実現します。

### 事業創造活動の経緯と計画



### 社内外から集まった約4,000件のアイデアで高速道路が持つ可能性を広げていきます

事業を検討するにあたってはまず、自社の保有する資源を再確認するため、全社員から事業アイデアを募集しました。集まったアイデアは、約2,500件。これらを、関西・中国・四国・九州・東京の地区ごとに、グループ全社が参加する「地区ブロック会議」を設けて、社内議論を重ねました。さらに、有志によるプロジェクトチームを発足して、世代を超えて、従来の枠組みにとられない斬新なアイデアも検討してきました。

2011年1月には、社外のステークホルダーの皆さまからも広く事業アイデアを募集、約1,200件のアイデアをいただきました。集まったアイデアについては、独創性、地域性、ユーモアの観点から最優秀賞2点、優秀賞4点を選出するとともに、テーマごとに分類、整理して地域からの期待が大きい事業分野を分析しました。

ビジネスパートナー募集には約300件の応募があり、事業提携に向けた交渉を進めるなど、地域やビジネスパートナーとのWin-Winな関係の構築を推進しています。

また、こうした考え方をグループ全体の新たな企業文化とするべく、浸透を図っていくことによって、周辺地域との共生の実現を目指します。

### 社外募集アイデア 受賞作品

#### 最優秀賞：2件

#### 高速道路で第2のふるさとを創ろう！ (針貝 武紀 様)

高速道路の利用増進、地域の活性化支援、都市移住者の豊かさ創造支援を目的とした「田舎ツアー」の実施。まずは、都市の単身赴任者向けに休日ツアーを実施、受け入れ先の地域活性化団体と一緒に取り組む。

#### 公衆無線LAN環境の整備と地域情報発信による経済活性化 (藤井 知晃 様)

公衆無線LAN環境の整備と地域情報発信による経済活性化策。ドライバーとのつながりの深いFM各局が各地詳細情報を「数珠つなぎにPR」する。お客さまに逐次情報を届け周辺各地に誘導する。



#### 優秀賞：4件

#### 高速道路の盛土斜面、SA・PAを使った太陽光発電事業 (井上 信明 様)

高速道路の南向き盛土斜面空間とSA・PAを利用した、太陽光発電パネルの敷設と発電事業の展開。余剰電力は電力会社に売電する。

主婦の味方(みりよく)は「美味しい」(大東 京子 様)  
主婦のアイデアを活かしたSA・PA活性化。地域で評判の主婦の手料理を商品化し提供。アイデアが社会とつながり消費と雇用が拡大。

#### 地域共生再生プラン (鈴木 祐一 様)

高速道路ネットワークと土地を活かした地域再生。幼稚園と介護施設を建設。形成された生活圏を軸に体験農業も展開。温泉もつくる。

#### 遊ぶの大好き！「私の街のテーマパーク」(竹野 實 様)

地域の風土や歴史を感じる参加型ミニテーマパーク。遊具や工芸品づくり、園芸体験のほか、アトラクションでは創作物語を地元で演出。

### ステークホルダーコメント

大谷大学文学部 助教  
宋 基燦(そん・きちゃん) 様



### 人と心、文化をつなぐ高速道路の新しい役割に期待します

高速道路がもたらすモビリティとスピードは、近代的産業社会の成長と経済発展に欠かせない活力を提供してくれました。日本の高度経済成長期に日本産業の動脈として高速道路が果たした貢献は計り知れません。

しかし、少子高齢化が進み後期産業化社会もしくは脱産業化社会を迎えた日本において、高速道路の意味は、以前の産業社会のそれとは異なるものとなりました。近代的産業社会における高速道路が、地点と地点、産業と産業をつなぐ「動脈」のようなものだったならば、脱産業化社会の高速道路は、人と心、文化をつなぐ「神経網」のようなものでなければなりません。

今回NEXCO西日本が手がけた新しい事業創造への第一歩が、このような時代と高速道路へのニーズの変化を読み、単純に場所と場所を物理的につなぐだけでなく、人と人、人と地域、現在と未来をつなぐ高速道路の未来の可能性を探るものになることを期待します。

## 独自技術と人的資産で、高速道路の外へ

### 技術資産の活用による事業創造

#### グループの情報・技術資産を棚卸して 独自技術を活用した新サービスを展開します

グループ内に蓄積された高速道路分野における技術、ノウハウ、サービスなどをデータベース化して分類し、それらを有機的に連結させて、国内から海外までの多様な顧客に対する商品化、事業化を目指しています。

事業化にあたっては、全社を横断するチームを組織して、①「技術・ノウハウ・サービスなどの分析」、②事業化へ発展できるアイデアの抽出、③事業化へ向けたビジネスモデルの検討、という3つのステップを経て、新しい事業を創造していきます。

#### さまざまな分野で活用が期待される 「ナノバブル」事業の新会社を設立しました

NEXCO西日本グループは2012年4月、ナノバブル技術を活用した事業を拡大するため、株式会社Ligatic(リーガレック)を設立しました。ナノバブルとは、数100ナノメートル(1ナノメートルは1mmの100万分の1)以下の微細な気泡のことで、これを含んだ水は、洗浄・浄化・殺菌・消毒・生物活性等の効果が認められるなど、さまざまな分野での活用が期待されています。

当社グループでは、SA・PAのトイレ洗浄や、塩分による老朽化が進む構造物の洗浄などへの活用を計画しています。また、これらの成果をもとに、グループ外への営業活動にも注力していきます。企業、研究機関へのナノバブル機器の販売、システム開発・設計、技術開発・指導等のアプリケーションビジネスに加え、農業などへの適用の拡大を目指します。



トイレ床面の清掃では洗剤が原則不要になるうえ、水の使用量も約100分の1になり、環境への負荷を低減できます。



ナノバブル事業の拡大を目指し、株式会社Ligatic(リーガレック)を設立

### グループの事業創造取り組み事例

#### 技術外販

##### 技術製品・サービス外販

道路事業で蓄積した技術ノウハウから関連製品を開発してグループで集約、高度な道路技術者の支援サービスと合わせて、外販活動カタログを作成しました。



#### 発生材活用

##### 植物堆肥の生産・販売

高速道路のり面の維持管理で発生した材料を、リサイクル推進の観点から堆肥化しています。2011年度は、外販に向けた試験販売を実施しました。



#### 地域との協力

##### 農業への参入

浜田道沿線の広島県北広島町の協力を得て耕作地を集約確保、お米や野菜の生産を始めました。山間地での雇用確保と、維持管理作業との相互効率化を目指しています。



#### 担当社員コメント

NEXCO西日本  
技術部 技術課 課長  
福永 靖雄



#### 社員の意識改革を進め新たな 事業化へ取り組みを推進

高速道路の建設・維持管理を通じて獲得した技術・ノウハウを、道路の外に広げる新たな事業を検討しています。一例を挙げると、NEXCO西日本ではこれまで、鋼鉄製橋梁に金属溶射を施すことで耐久性の向上を図る技術開発を行ってきましたが、これを高速道路以外の分野に適用することを検討しています。

今後も、高速道路の持つネットワークを活用し、地域との協力によるビジネスや、当社の持つ強みを活かした商品開発ができるよう、高速道路以外にも目を向けるよう社員の意識改革を進め、新たな事業化へ取り組みを推進していきます。

## 地域に貢献する新サービスを提案

### 地域との連携による事業創造

#### 道路ネットワークとサービスエリアを発展活用 地域活性化につながる新サービスを創造します

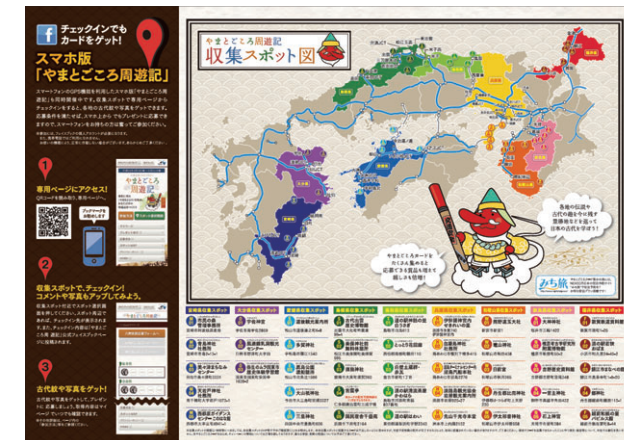
高速道路の周辺自治体やビジネスパートナーが持つ高速道路への期待を把握し、双方向のコミュニケーションの中から、地域との共生に視点を置きつつ、高速道路ネットワークおよび保有するノウハウ等を形にすることで、新しいサービスを創造していきます。

#### 自治体との包括協定を利用し 地域活力をつなぐ広域キャンペーンを企画しました

高速道路ネットワークを使って各地を結ぶことで地域の魅力を高める広域観光連携キャンペーン「やまごころ周遊記」を開始しました。これは、西日本の古事記ゆかりの地など(全43カ所)に設置したカードを集めながら楽しく古事記を学ぶドライブラリーです。

こうしたプログラムは、NEXCO西日本グループが包括的相互協力協定を締結した各府県と連携しながら企画してきたものです。各地域の観光資源を古事記というテーマで結び

付け、その魅力を相乗的にアップさせることで、各県への来訪者数と西日本各府県間の交流者数の増加に向けた取り組みを提案しています。



古事記をテーマに、西日本各地の観光スポットを周遊する広域観光キャンペーンを企画

### グループの事業創造取り組み事例

#### 歴史観光資源

##### 「KOBÉ de 清盛2012」平清盛サテライトブース

大河ドラマ「平清盛」放送を契機に、神戸市と連携協力し、ゆかりの地「神戸」の歴史的価値や観光資源を紹介するブースを開設しています(2012年12月まで)。



#### 旅行ツアー企画

##### みち旅ハイウェイツアー

高速道路沿線の魅力的な観光スポットの周遊や体験型レクリエーション、道路事業の現場見学などをパックにした「みち旅ハイウェイツアー」を実施しました。



#### 独自商品販売

##### オリジナルTシャツ販売

高速道路を身近に感じていただくための取り組みとして、名神高速道路が2013年7月16日に開通50周年を迎えることを記念した「名神開通50周年Tシャツ」を販売しています。



#### 担当社員コメント

NEXCO西日本  
事業開発部 事業開発課 課長  
宮崎 高幸



#### 約4,000件のアイデアは 当社への“期待”、 アイデアの実現を通じて 新しい高速道路の価値を創造していきます

事業創造委員会に社内外から寄せられた約4,000件のアイデアの一つひとつには、当社に対する“期待”が込められています。これらを実現することでその期待に応えたいと考えています。

これまでも、地域や各企業の皆さまのご協力を得ながら検討を進め、一部のアイデアはすでに試行してきました。今後は、いよいよ実行フェーズに入っていきます。

実現までには、いくつもの壁を乗り越えなければなりません。地域との共生を実現し高速道路の新しい価値を創造するため、今後もグループ一丸となって事業創造活動を推進していきます。